

## お知らせ

### 念願の軽種馬診療センターが南九州に設置

南九州（熊本、宮崎および鹿児島県）は古くから軽種馬の主要な産地であり、西南暖地の特性を生かして生産から若馬の育成および競走馬の休養など重要な役割の一端を担っています。このような背景があるにもかかわらず、馬の獣医療技術が高度化する中で診療施設は充実しているとはいえ、育成馬や休養馬の受け入れ体制が十分とはいえませんでした。このような現状を打破するため、社団法人日本軽種馬協会は、財団法人全国競馬・畜産振興会の助成を受け、鹿児島大学（鹿児島市郡元）農学部の協力を得て、昨年12月に大学構内に最先端の獣医診療施設として軽種馬診療センターを竣工し、施設が寄贈されました。

### 軽種馬診療センターの概要

軽種馬診療センターは、鉄筋コンクリート造り2階建てであり、建築面積は306.59㎡、1階床面積290.76㎡、2階床面積300.36㎡、延べ床面積591.12㎡です。

1階には処置スペース、X線室、倒馬室、手術準備室、手術室、衛生室、シャワー等を備えています。2階はカンファレンスルーム、スタッフルーム3室、資料室、研究室2室、臨床検査室、研修室（約40名収容）などで構成されます。

軽種馬診療センターは、まもなく本格的稼働の予定です。施設がJRA宮崎育成牧場およびJBB九州種馬場と連携を持ち、南九州の馬医療の中核として有効活用されることを期待します。



### 問い合わせ

#### 鹿児島大学農学部附属動物病院 軽種馬診療センター(Equine Medical Center)

診療時間 平日 午前 9:00～11:30  
午後 1:00～3:00

休診：水曜日の午後・土日・祝祭日

担当獣医師：三角一浩（Tel. 099-285-8731）

受付：鹿児島大学農学部附属動物病院事務係  
Tel. 099-285-8750  
Fax. 099-285-8751

